

**令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻): 経済学研究科経営学専攻

(履修申請受付期間： 令和2年4月1日(水)～令和2年4月6日(月))

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教 室	受入可能 学生数
キャパシティ・マネジメント	組織において、組織の潜在的な価値獲得能力を示すキャパシティに関するマネジメントは、組織内の有限な経営資源の有効活用という観点から欠くことができない活動です。組織内における固定費や間接費問題解決のために、問題を発見し、ABC (Activity Based Costing) 情報や機能分析などによる解決方法を学びます。キャパシティの定義づけやマネジメントのあり方、アイドルキャパシティの発生源泉と管理方法などを学び、経営資源の有効活用の考え方を身につけることを到達目標とします。	教授 山北 晴雄	2	月	1	経504	若干名
工業経営論	工業経営の進化と経営デモクラシー	教授 池内 守厚	2	月	3	経505	若干名
会計とディスクロージャー	我が国の会計ディスクロージャーと事業再生手続きの変遷の分析及び有価証券報告書の事例分析により事業価値と会計情報について考えます。	講師 野村 智夫	2	月	6	8-105	若干名
地域商業論	流通・商業と地域社会との新たな関係づくり—理論・政策・実証を踏まえて—	教授 福田 敦	2	火	1	経304	若干名
ナレッジワーク論	ITを活用した21世紀の知識創造的ワークスタイルの研究。 人、モノ、カネと情報のグローバル化、情報通信技術 (ICT) の急速な発展、を背景に世界的な構造変動が続いている。組織とは何か。大規模組織の成立を見た20世紀初頭から、情報化の進展した20世紀後半、21世紀のグローバル・ネットワーク組織まで、多様な組織と組織論学説が展開されてきた。本演習は、時代ごとの社会・経済環境に基づく組織と人のワークスタイルの研究を目的としている。「働く」とは何か。特に知識創造的なワークスタイルとそれを実現する条件の検討を行いたい。	教授 荒川 一彦	2	火	4	経507	若干名
自動車産業史	日本における自動車産業の生成・発展過程に関する研究。	教授 四宮 正親	2	火	5	経501	若干名
地理情報科学特論	地域の自然環境を、地理情報科学および自然地理学的な分析手法を用いて考察する。	准教授 齋藤 仁	2	火	5	経601	若干名
金融技術論	金融工学の基礎とその応用	教授 広尾 純	2	火	6	経306	若干名
メディアと社会思想	メディアと社会思想との関連	教授 伊藤 明己	2	火	6	経305	若干名
ライフサイクル・コストニング	製品の一生(ゆりかごから墓場まで)のコストについて考察する。	教授 江頭 幸代	2	木	1	経604	若干名
ジェンダーと経済	ワーク/ライフのアンバランスな現状について理解する。それにジェンダーがどう関係しているかを理解する。佐藤博樹・武石恵美子編著『ワーク・ライフ・バランスと働き方改革』山ロー男・樋口美雄編『論争 日本のワーク・ライフ・バランス』の2著を、参加者で読み、他の資料も併せつつ検討し、日本におけるワーク・ライフ・アンバランスの現状を理解しと改革の方途を探っていく。	教授 細谷 実	2	木	2	経508	若干名
非営利組織の経営	非営利組織の意義と経営管理	教授 高橋 公夫	2	木	3	経506	若干名
国際会計論	国際会計基準審議会 (IASB) による基準設定プロジェクトを読み解く	教授 渡辺 竜介	2	木	6	経310	若干名
企業評価論	資本コスト、株価決定メカニズムと企業価値評価	教授 辻 聖二	2	金	1	経514	若干名
国際ビジネス	国際ビジネスの主体である多国籍企業 (MNE) は、グローバル化またはローカライゼーションの主要なプレーヤーであり、政治、経済、国内外制度、企業間競争、消費者といった環境の変化やニーズに適応し、さらに自らの能力を変容させている。本講義ではMNEをとりまく環境とその変化へのMNEの対応、とりわけ海外展開の動機、参入戦略、戦略、組織、機能などを具体的に理解してもらうことを目的としている。	教授 大東和 武司	2	金	1	経513	若干名
民間非営利組織会計	非営利性・公益性・独立性を要件とする民間非営利組織の会計を教授する。議論ののり台として学会賞受賞書籍を教科書として用いる。知育とともに、西洋倫理学に基づく善き市民としての徳育を図る。	准教授 水谷 文宣	2	金	3	(八)F-603	若干名
現代日本の若者と文化	若年層の社会化過程の変容とsocietal culture の日本的特質	教授 中西 新太郎	2	金	3	7-506	若干名
コラボレーションシステム論	新たなCMCが生み出す、より創造的なコラボレーションのあり方について研究していく。	教授 渡邊 光一	2	金	6	7612	若干名
法人税法	法人税法の基礎理論に基づき、現行の法人税の諸問題について講義する。合併税制等の新たな課題についても考察する予定である。	教授 望月 正光	2	金	6	(関)M-806	若干名
租税法	租税法に係る主要判例を素材として、租税理論と日本の税制の基本構造を理解し、現行税制の実務上の意義や経済取引に与える影響について考える。	講師 菅沼 哲矢	2	土	1	(関)M-806	若干名
所得税法	所得税法に係る主要判例を素材として、所得税法の理論を理解し、その上で経済取引に与える影響・税制上の課題について考える。	講師 菅沼 哲矢	2	土	1	(関)M-806	若干名
観光まちづくり	観光を活用した地域振興の現状や課題を十分に理解し、その主だった手法について習得する。	准教授 才原 清一郎	2	土	2	経608	若干名

**令和2年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻)： 経済学研究科経済学専攻

(履修申請受付期間： 令和2年4月1日(水)～令和2年4月6日(月))

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教 室	受入可能 学生数
動学的一般均衡理論	この授業では新古典派とケインズ派における各変数の決定メカニズムの相違点に注目しつつ、無限期間離散モデルにおける一般均衡分析を解説する。	准教授 吟谷 泰裕	2	火	2	7-603	若干名
日本都市経済史	近現代の日本経済史を都市の展開に即して再検討する。	准教授 名武 なつ紀	2	火	4	経411	若干名
地理情報科学特論	地域の自然環境を、地理情報科学および自然地理学的な分析手法を用いて考察する。	准教授 齋藤 仁	2	火	5	経601	若干名
協力ゲームの理論	協力ゲーム理論を、適用例を用いながら数学的に厳密に学習する。特に、特性関数形ゲームにおける代表的な解概念(コア・安定集合・仁・シャープレイ値など)について、定理の証明も含めて学ぶ。	准教授 上代 雄介	2	火	6	経512	若干名
金融技術論	金融工学の基礎とその応用	教授 広尾 純	2	火	6	経306	若干名
メディアと社会思想	メディアと社会思想との関連	教授 伊藤 明己	2	火	6	経305	若干名
租税法	租税法に係る主要判例を素材として、租税理論と日本の税制の基本構造を理解し、現行税制の実務上の意義や経済取引に与える影響について考える。	講師 菅沼 哲矢	2	土	1	(関)M-806	若干名
所得税法	所得税法に係る主要判例を素材として、所得税法の理論を理解し、その上で経済取引に与える影響・税制上の課題について考える。	講師 菅沼 哲矢	2	土	1	(関)M-806	若干名
医療経済学	少子高齢化で保険財源が逼迫する中で、医療は患者、政府、保険者、医療機関のそれぞれの視点からどうあるべきかを学習する。	講師 工藤 高	2	木	2	8-307	若干名
ジェンダーと経済	ワーク/ライフのアンバランスな現状について理解する。それにジェンダーがどう関係しているかを理解する。佐藤博樹・武石恵美子編著『ワーク・ライフ・バランスと働き方改革』山ロー男・樋口美雄編『論争 日本のワーク・ライフ・バランス』の2著を、参加者で読み、他の資料も併せつつ検討し、日本におけるワーク・ライフ・アンバランスの現状を理解しと改革の方途を探っていく。	教授 細谷 実	2	木	2	経508	若干名
現代日本の若者と文化	若年層の社会化過程の変容とsocietal culture の日本的特質	教授 中西 新太郎	2	金	3	7-506	若干名
家族と人口の経済学	家族経済学の理論および家族や人口を対象とする実証研究について、近年研究され始めた領域のトピックスを学習する。ミクロ経済理論及び多変量解析の手法を応用する。	准教授 吉田 千鶴	2	木	4	経511	若干名
西洋都市経済史	英語で書かれた優れた論文を読むことにより、ヨーロッパ中世都市経済の本質に迫っていく。	准教授 鴨野 洋一郎	2	金	4	経402	若干名
前近代の交易と東アジア	前近代の東アジアは、経済的関係を通じて歴史的世界を形成していた。それを理解するためには経済学的視点からの歴史学へのアプローチが求められる。本講義では、そのような分析視角のもとに前近代東アジアにおける国際交易史の展開を理解することを旨とし、カール・ポランニー『人間の経済』とシャルロット・フォン・ヴェアシュア『モノが語る日本対外交易史』を読解し、歴史における経済の役割を評価できるようにする。	准教授 河内 春人	2	金	5	7-602	若干名
再生産・蓄積論	『資本論』における再生産・蓄積論体系について研究する。資本蓄積と雇用・失業、総資本の再生産と流通、資本蓄積と利潤率の変動という諸問題を取り上げる。	教授 谷野 勝明	2	木	6	経312	若干名
国際政治経済の数理分析	本講義では、選挙、議会交渉、委員会制度、核抑止、国際紛争などの国際政治経済現象について、数理モデル(主に非協力ゲーム理論)を用いて分析する手法を解説する。統計データを用いた実証研究の成果についても、適宜授業内で紹介する。	准教授 山本 勝造	2	木	6	経309	若干名
法人税法	法人税法の基礎理論に基づき、現行の法人税の諸問題について講義する。合併税制等の新たな課題についても考察する予定である。	教授 望月 正光	2	金	6	(関)M-806	若干名